

富山市消防のあらまし



令和8年度 富山市消防業務推進重点目標

◆重点目標【人にやさしい安心・安全なまちづくり】

〈重点方針1〉火災予防対策の推進

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 事業所の防火安全対策の推進
- ③ 放火火災等防止対策の推進

〈重点方針2〉多様な災害や事故への対応能力の強化

- ① 危機管理体制の充実
- ② 災害現場活動能力の向上
- ③ 震災時等における消防体制の強化
- ④ 救急体制の充実
- ⑤ 消防救急デジタル無線の更新整備
- ⑥ 消防総合情報管理システムの更新整備

〈重点方針3〉応急手当の普及啓発

- ① 応急手当の普及啓発の推進
- ② 救急需要対策の推進

〈重点方針4〉地域における消防拠点の整備と機能強化

- ① 常備消防拠点施設の整備
- ② 消防団の充実強化
- ③ 国際拠点港湾を管轄する消防との連携協力

〈重点方針5〉人材の育成・消防広報の推進

- ① 職員研修の充実
- ② 団員研修の充実
- ③ 広報活動の推進

1. 富山市消防のあゆみ

平成17年 4月 1日	富山地域7市町村が合併し、新「富山市」が誕生。これに伴い富山市消防局（定数445名）及び富山市消防団（定数2,649名）が発足した。 富山市消防局通信指令課の隔日勤務者を2名増員し、18名から20名体制とした。 市町村合併により、119番通報を集中受信できるよう指令システムを再編し、運用を開始した。
平成17年 5月29日	富山市消防団結団式を富山第一ホテルにおいて挙行了した。
平成17年 7月 1日	一般公募により女性消防団員23名が、富山方面団・北部方面団・呉羽方面団・水橋方面団各団本部に入団した。
平成17年10月 5日	第11回全国女性消防団員活性化富山大会が富山市芸術文化ホールで開催され女性消防団員等が参加協力した。
平成17年10月20日	第17回全国女性消防隊消防操法大会が横浜市訓練センターで開催され、富山県の代表として富山市大沢野女性消防隊が出場した。
平成17年10月26日	携帯電話での119番通報が代表受信方式（県内3本部）として受信していたが各管轄の消防本部へ、直接通報が入る「直接受信方式」に変更された。
平成17年12月15日	富山方面団五番町分団を同場所において改築した。
平成18年 3月 1日	八尾方面団本部に女性消防団員10名が入団した。
平成18年 4月 1日	職員定数を445名から474名に増員した。 婦中方面団本部に女性消防団員5名が入団した。
平成18年 7月 5日	富山消防署東部出張所が東石金地内から中市地内へ移転新設し、竣工式が挙行された。
平成18年 8月	鉄軌道敷内及び沿線等で災害が発生した場合、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転を再開するため、各機関との鉄道災害時の安全対策に関する覚書を締結した。 ・8月10日 富山ライトレール(株) ・8月29日 富山地方鉄道(株) ・9月30日 西日本旅客鉄道(株)金沢支社、日本貨物鉄道(株)金沢支店
平成18年12月25日	細入地域に分遣所を新築し、大沢野消防署細入分遣所として開所式を挙行了した。また、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台を配置し運用を開始した。
平成18年12月26日	大沢野消防署細入分遣所の竣工式を挙行了した。
平成19年 1月 7日	平成19年富山市消防出初式の会場を城址大通り、式典会場を富山県民会館に変更し挙行了した。また、今年度より消防演技に裸放水を追加した。
平成19年 1月22日	富山方面団清水町分団置場を同場所において改築した。
平成19年 3月12日	富山方面団太田分団置場を太田地内にて移転新築した。
平成19年 3月25日	能登半島地震が、9時42分に発生した。 富山市消防局から7隊25名を富山県緊急消防援助隊として被災地に派遣した。 派遣先は、石川県輪島市門前地区。 派遣期間は、3月25日、26日。

平成19年 5月17日	地域住民や消防団員を雇用する事業所等の関係者に、消防団活動に対する理解と協力を得て、団員の加入促進と消防団活動を一層活性化させ、防火思想のさらなる普及を図るため、富山市消防団活性化大会をオーバードホールで開催した。
平成19年10月21日	今年度から初めてとなる富山市消防団新任消防団員研修会を消防局にて実施した。
平成19年10月29日	災害防ぎょ活動時等における、通信体制の充実を図るため、大沢野署、大山署、八尾署、婦中署の携帯型無線機（43台）の再配置及び廃棄した無線機4台を復活させ各署所へ再配置を実施した。
平成19年11月 9日	携帯電話・IP電話の「位置情報通知システム」を運用開始した。
平成19年11月29日	婦中消防署山田分遣所の竣工式を挙行了した。
平成19年12月 3日	呉羽方面団長岡分団置場を同場所において改築した。
平成19年12月23日	富山市消防音楽隊創立25周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成20年 1月23日	火災が多発したことにより、市長記者発表を行い、「火災多発警報」を発令した。
平成20年 2月18日	生物・化学災害消防活動計画を新たに策定し、運用を開始した。
平成20年 3月 6日	富山方面団山室分団置場を中川原地内から秋吉地内へ移転新築した。
平成20年 3月 7日	自治体消防制度60周年記念式典が日本武道館で開催され、富山市消防団長以下14名が出席した。
平成20年 3月27日	大山消防署小見分遣所の竣工式を挙行了した。
平成20年 4月 1日	再任用制度を初めて導入し、再任用職員を5名配置した。
平成20年 5月31日	自治体消防制度60周年富山県記念式典をとやま自遊館ホールで開催し、招待者及び消防団員が約700名出席した。
平成20年 8月 9日	自治体消防制度60周年記念富山県防火・防災推進大会が富山県民会館で開催され、県知事特別表彰として、富山市から消防功労4名、永年勤続功労116名が受賞した。
平成20年 9月24日	女性消防吏員の隔日勤務に対応するため、富山市消防局・富山消防署合同庁舎2階女性更衣室を改修した。
平成20年 9月30日	富山消防署の救助隊を高度救助隊に位置付けるにあたり、発隊式を実施した。
平成20年10月 1日	中核市に配置される高度救助隊に必要な地震警報器等の高度救助資機材を整備し、富山消防署の救助隊を増員して高度救助隊を設置、運用を開始した。
平成20年10月 1日	地域防災体制のより一層の充実を図るため、消防団に積極的に協力している事業所等に対し、「富山市消防団協力事業所表示制度」を開始した。
平成20年11月11日	富山市消防団協力事業所表示制度の表示証交付式を初めて挙行し、34事業所を11月1日付けで協力事業所に認定した。
平成20年12月11日	五福分団器具置場を同場所において改築した。
平成20年12月24日	草島分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 3月27日	星井町分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 8月21日	富山市は、二酸化炭素排出量の削減を図るため、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車を3台導入。うち1台が富山消防署へ配備された。
平成21年12月 9日	「国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱」及びそれに基づく「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」の改正に伴い、消防庁長官から国際消防救助隊編成協力市町村の登録を受けるとともに、6名を国際消防救助隊員に登録した。

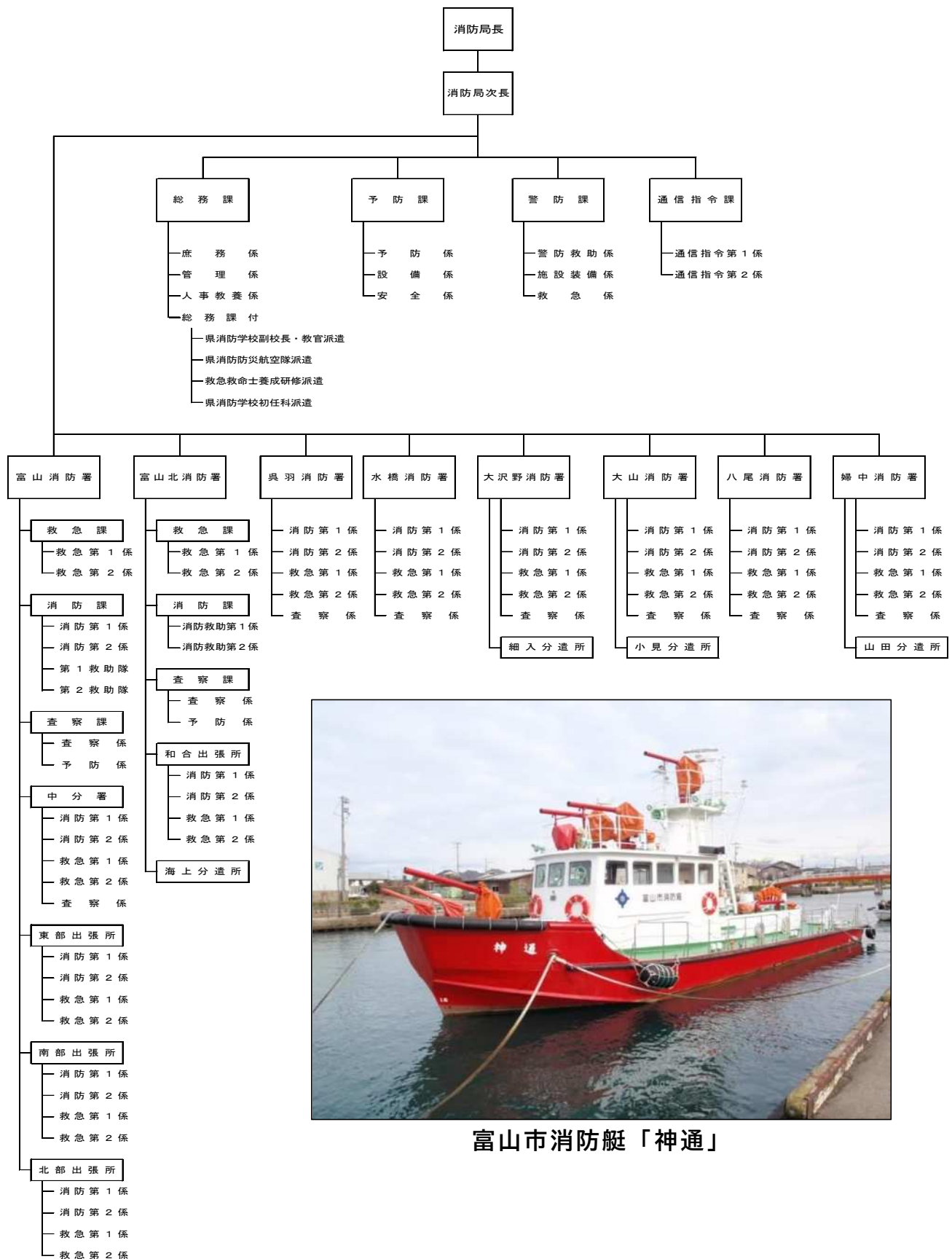
平成21年12月10日	水橋消防署が水橋柳寺地内から水橋館町地内へ移転新築し、運用開始した。
平成21年12月 4日	広田分団器具置場を鍋田地内に移転新築した。
平成21年12月12日	水橋消防署竣工式を挙行了した。
平成22年 2月25日	平成21年度総務省消防庁消防団協力事業所表示証を日本カーボンエンジニアリング(株)と、山田村農業協同組合が富山市で初めて交付を受け、東京のニッショーホールで伝達式が行われた。
平成22年 2月26日	蜷川分団器具置場を同場所において改築した。
平成22年 4月 1日	富山市消防団として初の女性分団となる富山女性分団(17名)、大沢野女性分団(20名)を結成し、辞令交付式を挙行了した。 平成21年12月9日に登録した国際消防救助隊の隊員証交付式を挙行了した。
平成22年 5月31日	富山市消防団長の佐伯光一氏が財団法人富山県消防協会長に就任した。
平成22年11月12日	第22回全国消防操法大会が愛知県で開催された。 開催場所 愛知県蒲郡市竹谷町太田新町1-1 蒲郡ボートレース場 出場隊 ポンプ車の部 草島分団 入賞(優良賞)
平成22年12月27日	浜黒崎分団器具置場を同場所において改築した。
平成22年12月28日	保内分団(三田)器具置場を同場所において改築した。
平成23年 1月30日	呉羽消防署仮設庁舎を同敷地内に建設し、運用を開始した。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震が、14時46分に発生した。 富山市消防局から延べ39隊160名を富山県緊急消防援助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、宮城県名取市。 派遣期間は、3月11日から4月13日。 地震・津波・原発等の甚大な被害をもたらした、東日本大震災であった。
平成23年 5月27日	消防救急無線のデジタル化に係る、「県内の広域化・共同化に係る全体計画」を作成することを目的に、富山県消防救急無線デジタル化協議会が設立・開催された。
平成23年12月21日	呉羽分団器具置場を同場所において改築した。
平成23年12月22日	神明分団器具置場を同場所において改築した。
平成23年12月25日	呉羽消防署を同場所において改築し、運用を開始した。
平成24年 2月 1日	宮城県知事及び名取市長から感謝状を受領した。(伝達式)
平成24年 3月 1日	消防総合指令システム部分更新に伴う運用を開始した。
平成24年 3月24日	呉羽消防署竣工式を挙行了した。
平成24年12月21日	富山市消防音楽隊創立30周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で開催した。
平成25年 1月11日	山田北部分団器具置場を山田小島地内に新築した。
平成25年 7月 1日	新富山市消防団長に、宮本光明氏が就任した。
平成25年11月14日	鵜坂分団器具置場を婦中町田島地内に移転新築した。
平成26年 3月20日	新庄分団器具置場を同場所において改築した。
平成26年 9月27日	長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山(標高3,067m)で11時25分頃に噴火災害が発生した。 富山市消防局から3隊13名を富山県緊急消防援助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、長野県王滝村 御嶽山。 派遣期間は、10月14日から10月17日。 戦後最大の人的被害をもたらした噴火災害であった。

平成26年11月22日	長野県北部地震が、22時08分頃に発生した。 富山市消防局から5隊21名を富山県緊急消防援助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、長野県白馬村。 派遣期間は、11月23日。
平成26年11月26日	東部分団器具置場を同場所において改築した。
平成27年 3月18日	藤ノ木分団器具置場を開地内において移転新築した。
平成27年 4月26日	4月25日15時11分ネパール連邦民主共和国の首都カトマンズから北西約80kmの地域でマグニチュード7.8の強い地震が発生した。 消防庁長官からの派遣要請を受け、富山市消防局から1名を国際消防救助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、ネパール連邦民主共和国 首都カトマンズ。 派遣期間は、4月26日から5月9日。
平成27年10月26日	四方分団置場を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年11月 8日	富山北消防署和合出張所を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年12月 7日	水橋西部分団器具置場を同場所において改築した。
平成28年 4月 1日	救急需要の増大や、救急の高度化に対応するため、富山消防署及び富山北消防署の「庶務救急課」を「救急課」に変更し、他の署や分署、出張所には「救急係」を新設、また、警防課の「救急救助係」は「救急係」に変更した。
平成28年 4月 1日	消防救急デジタル無線の運用を開始した。
平成28年11月22日	西田地方分団器具置場を西田地方町二丁目地内に移転新築した。
平成28年11月29日	音川分団器具置場を婦中町外輪野地内に移転新築した。
平成29年 2月 1日	富山市消防団員等応援事業を導入した。
平成29年 2月 1日	富山市学生消防団活動認証制度を導入した。
平成29年10月 7日	八尾消防署を八尾町福島地内に移転新築した。
平成29年11月29日	神保分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月 8日	堀川分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月22日	富山市消防音楽隊創立35周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成30年 7月 6日	富山北消防署海上分遣所に水上バイクを配置し、運用を開始した。
平成30年 7月 7日	自治体消防制度70周年富山市記念式典を富山国際会議場で開催し、招待者及び消防団員が約600名出席した。
平成30年12月 5日	熊野分団（婦中）器具置場を婦中町堀地内に移転新築した。
令和 2年 2月28日	月岡分団器具置場を同場所において改築した。
令和 2年 3月12日	上条分団器具置場を水橋石割地内に移転新築した。
令和 2年 4月 1日	消防総合情報管理システムを更新し運用を開始した。
令和 2年 7月28日	大沢野消防署を同場所において改築し、運用を開始した。
令和 3年 3月18日	倉垣分団器具置場を同場所において改築した。
令和 3年 3月28日	大沢野消防署竣工式を挙行了した。
令和 3年11月 5日	立山町との消防指令業務共同運用に係る基本事項に関する合意書を締結した。
令和 3年12月10日	池多分団器具置場を同場所において改築した。
令和 5年 3月28日	立山町との消防指令業務にかかる事務の委託に関する協議書を締結した。
令和 5年 4月 1日	立山町の消防指令業務にかかる委託事務を開始した。
令和 5年 9月11日	富山消防署南部出張所を同場所において改築し、運用を開始した。

令和 6年 1月 1日	令和6年能登半島地震が16時10分に発生した。 富山市で震度5強を観測、富山市消防災害対策本部を設置し、災害対応にあたった。
令和 6年 1月 9日	富山市消防局から令和6年能登半島地震の発生に伴い、延べ26隊76名を富山県緊急消防援助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、石川県珠洲市。 期間は、1月9日から1月22日まで。
令和 6年 2月 3日	令和6年能登半島地震の発生に伴い、奥能登広域圏事務組合消防本部から支援の要請を受け、「令和6年能登半島地震における広域応援協定」を締結した。 2月3日から3月4日まで延べ15隊53名を輪島消防署へ派遣した。
令和 6年 2月 7日	高岡市及び射水市と消防艇の共同運航に係る基本事項に関する合意書を締結した。
令和 6年 3月27日	熊野分団器具置場を同場所において改築した。
令和 6年 7月17日	高岡市及び射水市と消防艇の共同運航に係る連携協約を締結した。
令和 6年 7月24日	総曲輪分団器具置場を丸の内一丁目地内に改築した。
令和 6年 9月21日	富山市消防局から令和6年能登豪雨の発生に伴い、延べ25隊66名を富山県緊急消防援助隊として被災地へ派遣した。 派遣先は、石川県珠洲市。 期間は、9月21日から9月30日まで。
令和 6年12月23日	救急隊と医療関係者間における情報共有アプリの運用を開始した。
令和 7年 3月27日	愛宕分団器具置場を安田町地内に改築した。
令和 7年 4月 1日	職員定数を474人から486人に増員した。
令和 7年12月 2日	富山北消防署和合出張所に大型化学高所放水車、泡原液搬送車を配置し、運用を開始した。
令和 7年12月12日	三郷分団器具置場を水橋小路地内に移転改築した。
令和 8年 1月30日	新消防艇の起工式を愛知県蒲郡市で実施した。

2. 富山市消防局の組織

富山市消防局の組織は、4課8消防署1分署4出張所4分遣所からなり、消防職員は482名（ほか定数外3名、再任用職員5名）、（令和8年4月1日現在 定数486名）となっている。



富山市消防艇「神通」

3. 分掌事務

・消防局の分掌事務

- 総 務 課
- (1) 局における富山市行政組織規則第7条第2項に規定する事項
 - (2) 文書に関すること。
 - (3) 職員及び団員の人事に関すること。
 - (4) 職員及び団員の福利厚生に関すること。
 - (5) 職員及び団員の教養訓練に関すること。
 - (6) 職員及び団員の表彰に関すること。
 - (7) 消防施設の整備に関すること。
 - (8) 消防年報に関すること。
 - (9) 局の所掌事務で他の課の主管に属しない事務に関すること。

- 予 防 課
- (1) 火災予防に関すること。
 - (2) 建築の許認可・確認の同意に関すること。
 - (3) 消防用設備等に関すること。
 - (4) 危険物の規制に関すること。
 - (5) 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。
 - (6) 火災の原因及び損害調査に関すること。
 - (7) 消防広報に関すること。
 - (8) 違反処理に関すること。

- 警 防 課
- (1) 災害の警戒防ぎよに関すること。
 - (2) 人命救助に関すること。
 - (3) 救急業務に関すること。
 - (4) 水難救護に関すること。
 - (5) 消防機械、装備等の整備及び運用に関すること。
 - (6) 消防水利に関すること。
 - (7) その他警防に関すること。

- 通信指令課
- (1) 火災、救急、救助その他災害出場の指令管制に関すること。
 - (2) 消防通信の運用に関すること。
 - (3) 消防通信施設等の維持管理に関すること。
 - (4) 災害・支援情報等の運用管理に関すること。
 - (5) 消防気象情報に関すること。
 - (6) 火災、救急、救助その他災害の統計に関すること。

・消防署の分掌事務

- 救 急 課
- (1) 庶務及び消防団の事務に関する事項
 - (2) 人事・服務及び教養訓練に関する事項
 - (3) 消防施設の管理に関する事項
 - (4) 救急業務に関する事項
 - (5) 他の主管に属しない事項

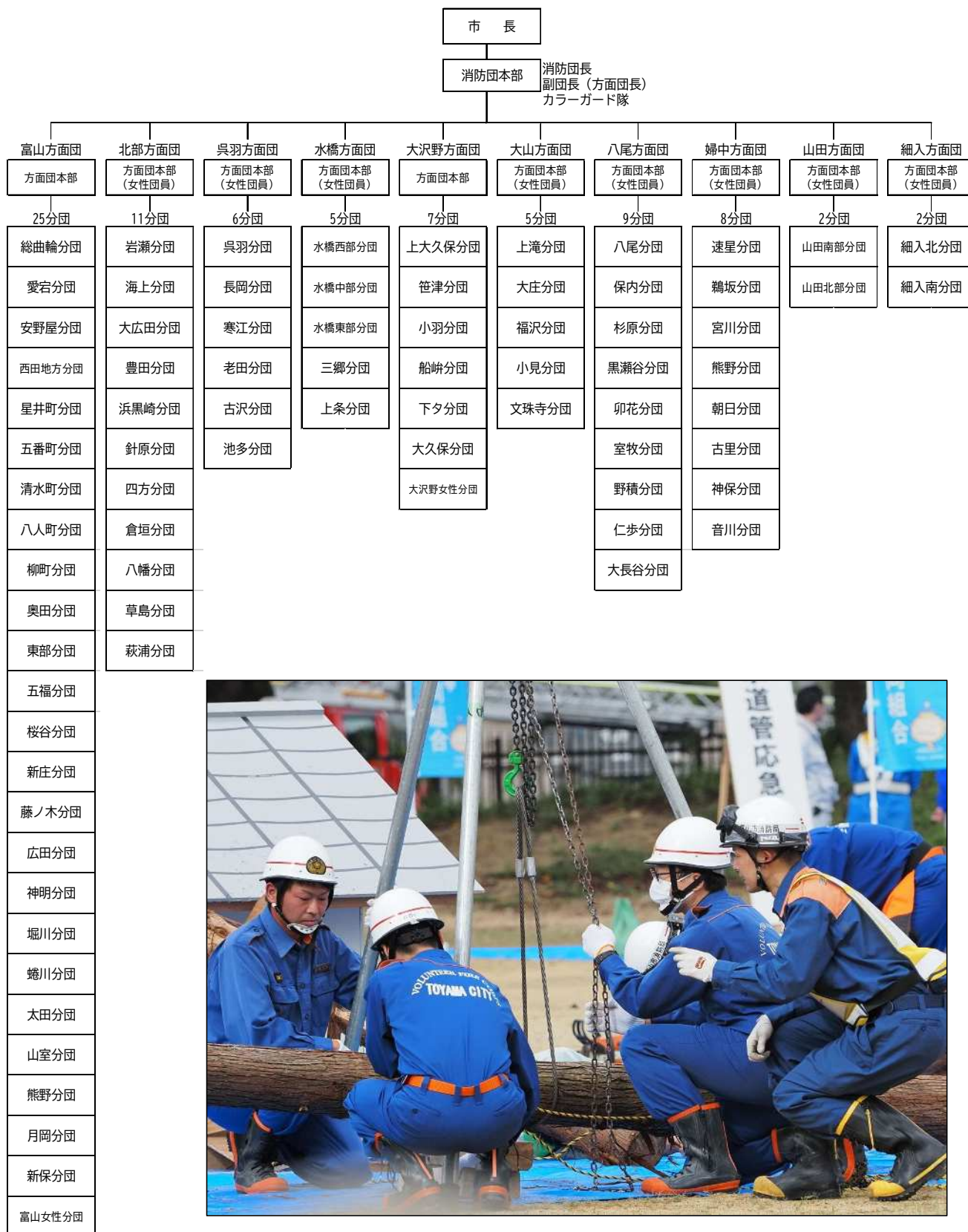
- 消 防 課
- (1) 災害の警戒防ぎよに関する事項
 - (2) 人命救助及び水難救護に関する事項
 - (3) 消防機械器具等の運用管理に関する事項
 - (4) その他消防に関する事項

- 査 察 課
- (1) 火災予防に関する事項
 - (2) 消防対象物の立入検査に関する事項
 - (3) 建築の許認可・確認同意及び危険物の規制に関する事項
 - (4) 火災の原因及び損害調査に関する事項
 - (5) 液化石油ガス等の防火指導に関する事項
 - (6) その他予防に関する事項

※呉羽消防署、水橋消防署、大沢野消防署、大山消防署、八尾消防署及び婦中消防署にあっては、それぞれ前記に規定する各課の分掌事務を行うものとする。

4. 富山市消防団の組織

富山市消防団の組織は、1団本部10方面団80分団からなり、消防団員は1,886名（令和8年4月1日現在定数2,649名）となっている。



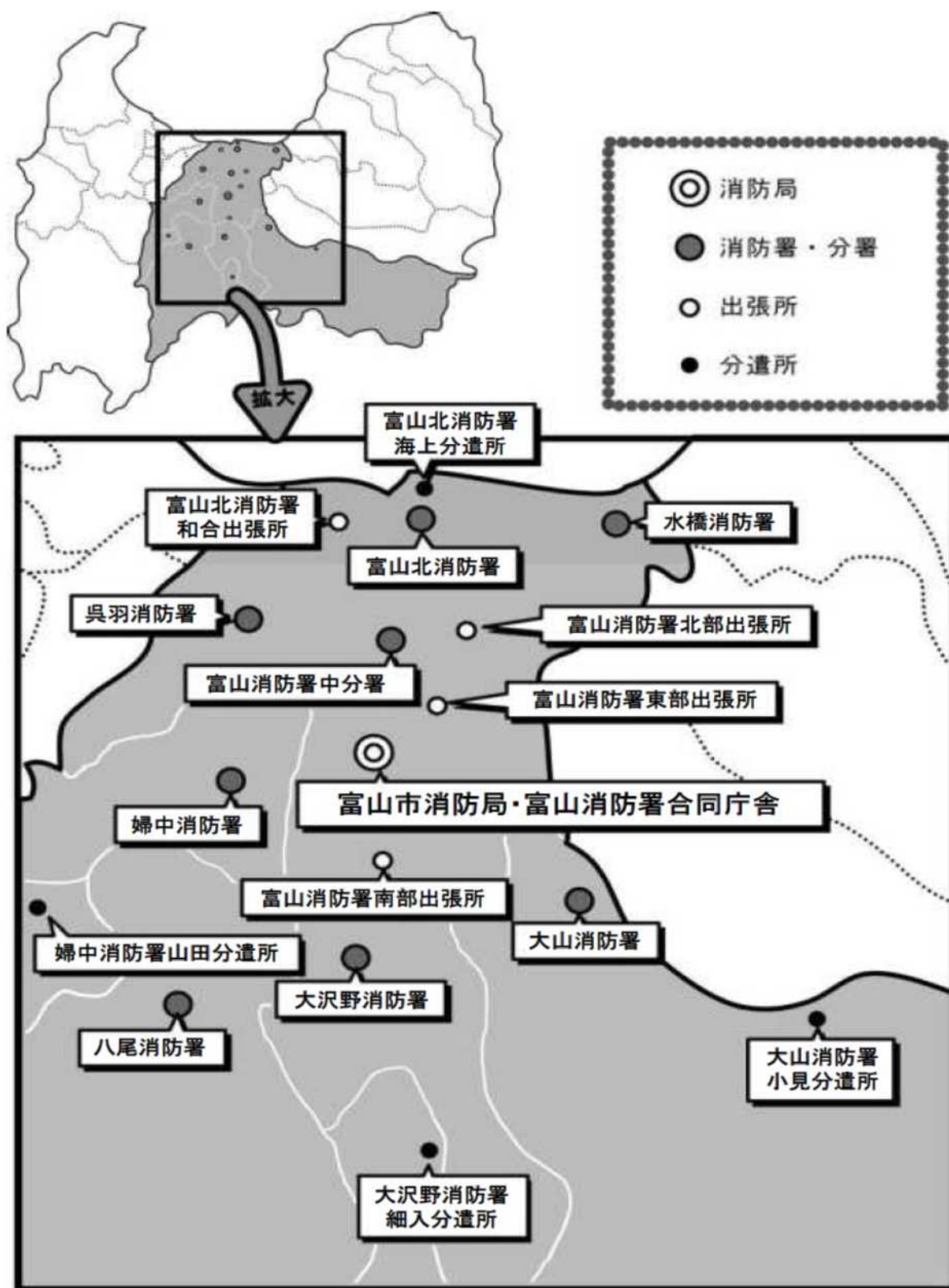
5. 応援協定の状況

応 援 協 定 の 名 称

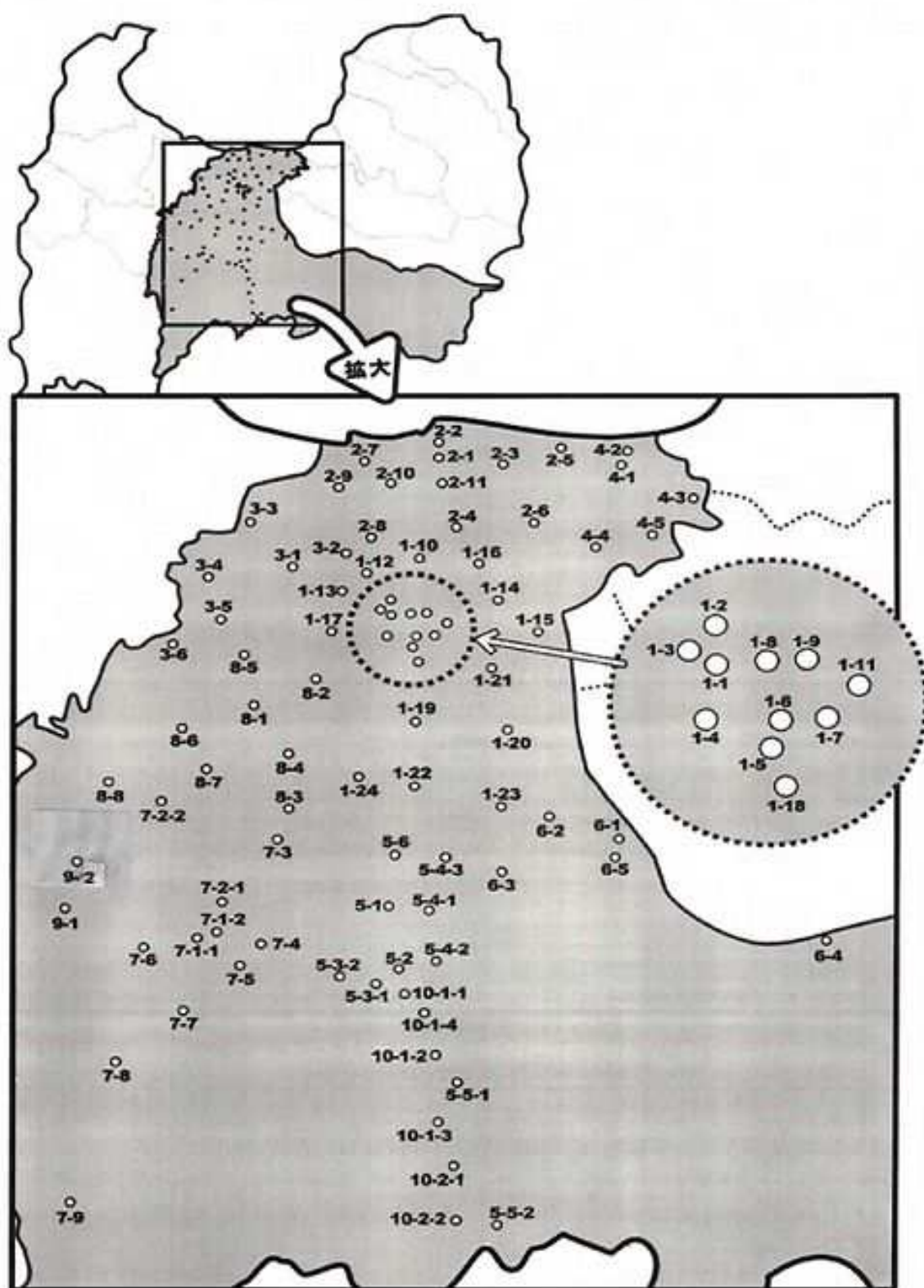
- ・災害時における相互応援協定（川崎市）
- ・災害時相互応援協定（高山市）
- ・災害時相互応援協定（金沢市、福井市）
- ・災害時における相互応援に関する協定（長野市）
- ・中核市との災害時相互応援協定
- ・富山県市町村消防相互応援協定
- ・富山市・富山県東部消防組合・立山町消防相互応援協定
- ・消防相互応援協定（飛騨市）
- ・消防相互応援協定（立山町）
- ・高速自動車国道北陸自動車道（小杉IC～富山西IC）における消防相互応援協定
- ・高速自動車国道北陸自動車道（流杉スマートIC～立山IC）における消防相互応援協定
- ・富山空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
- ・富山県消防防災ヘリコプター支援協定
- ・船舶火災の消火活動に関する業務協定
- ・富山県石油コンビナート等特別防災区域消防相互応援協定書
- ・携帯電話等による119番通報の対応に関する協定
- ・危険物移送取扱所との防災協定
- ・ガス漏れ及び爆発事故防止対策に関する協定
- ・災害時における応急対策業務に関する協定
- ・災害救助犬の出動に関する協定書
- ・富山県ドクターヘリ事業に関する協定
- ・水難事故時における行方不明者の捜索協力に関する協定書
- ・令和6年能登半島地震による広域応援協定書



6. 消防機関配置図



7. 消防分団配置図



No.	番号	名 称
1	1-1	富山方面団 総曲輪分団
2	1-2	富山方面団 愛宕分団
3	1-3	富山方面団 安野屋分団
4	1-4	富山方面団 西田地方分団
5	1-5	富山方面団 星井町分団
6	1-6	富山方面団 五番町分団
7	1-7	富山方面団 清水町分団
8	1-8	富山方面団 八人町分団
9	1-9	富山方面団 柳町分団
10	1-10	富山方面団 奥田分団
11	1-11	富山方面団 東部分団
12	1-12	富山方面団 五福分団
13	1-13	富山方面団 桜谷分団
14	1-14	富山方面団 新庄分団
15	1-15	富山方面団 藤ノ木分団
16	1-16	富山方面団 広田分団
17	1-17	富山方面団 神明分団
18	1-18	富山方面団 堀川分団
19	1-19	富山方面団 蟻川分団
20	1-20	富山方面団 太田分団
21	1-21	富山方面団 山室分団
22	1-22	富山方面団 熊野分団
23	1-23	富山方面団 月岡分団
24	1-24	富山方面団 新保分団
25	2-1	北部方面団 岩瀬分団
26	2-2	北部方面団 海上分団
27	2-3	北部方面団 大広田分団
28	2-4	北部方面団 豊田分団
29	2-5	北部方面団 浜黒崎分団
30	2-6	北部方面団 針原分団
31	2-7	北部方面団 四方分団
32	2-8	北部方面団 八幡分団
33	2-9	北部方面団 倉垣分団
34	2-10	北部方面団 草島分団
35	2-11	北部方面団 萩浦分団
36	3-1	呉羽方面団 呉羽分団
37	3-2	呉羽方面団 長岡分団
38	3-3	呉羽方面団 寒江分団
39	3-4	呉羽方面団 老田分団
40	3-5	呉羽方面団 古沢分団
41	3-6	呉羽方面団 池多分団
42	4-1	水橋方面団 水橋西部分団
43	4-2	水橋方面団 水橋中部分団
44	4-3	水橋方面団 水橋東部分団

No.	番号	名 称
45	4-4	水橋方面団 三郷分団
46	4-5	水橋方面団 上条分団
47	5-1	大沢野方面団 上大久保分団
48	5-2	大沢野方面団 笹津分団
49	5-3-1	大沢野方面団 小羽分団須原
50	5-3-2	大沢野方面団 小羽分団下伏
51	5-4-1	大沢野方面団 船嶺分団中部
52	5-4-2	大沢野方面団 船嶺分団南部
53	5-4-3	大沢野方面団 船嶺分団北部
54	5-5-1	大沢野方面団 下夕分団北部
55	5-5-2	大沢野方面団 下夕分団南部
56	5-6	大沢野方面団 大久保分団
57	6-1	大山方面団 上滝分団
58	6-2	大山方面団 大庄分団
59	6-3	大山方面団 福沢分団
60	6-4	大山方面団 小見分団
61	6-5	大山方面団 文珠寺分団
62	7-1-1	八尾方面団 八尾分団上新町
63	7-1-2	八尾方面団 八尾分団東町
64	7-2-1	八尾方面団 保内分団福島
65	7-2-2	八尾方面団 保内分団三田
66	7-3	八尾方面団 杉原分団
67	7-4	八尾方面団 黒瀬谷分団
68	7-5	八尾方面団 卯花分団
69	7-6	八尾方面団 室牧分団
70	7-7	八尾方面団 野積分団
71	7-8	八尾方面団 仁歩分団
72	7-9	八尾方面団 大長谷分団
73	8-1	婦中方面団 速星分団
74	8-2	婦中方面団 鵜坂分団
75	8-3	婦中方面団 宮川分団
76	8-4	婦中方面団 熊野分団
77	8-5	婦中方面団 朝日分団
78	8-6	婦中方面団 古里分団
79	8-7	婦中方面団 神保分団
80	8-8	婦中方面団 音川分団
81	9-1	山田方面団 山田南部分団
82	9-2	山田方面団 山田北部分団
83	10-1-1	細入方面団 細入北分団西笹津
84	10-1-2	細入方面団 細入北分団楡原
85	10-1-3	細入方面団 細入北分団庵谷
86	10-1-4	細入方面団 細入北分団岩稲
87	10-2-1	細入方面団 細入南分団片掛
88	10-2-2	細入方面団 細入南分団猪谷